

エレミヤ書 23 章 (70 人訳)

- 1 自分が牧している羊を滅ぼし、散らす羊飼いは災いである。
- 2 それゆえ、私の民を曲げる人々に対して主はこういわれる；
お前たちは私の羊を散らし、彼らを追い出した、そして彼らを訪れようもしない、
見よ、私はお前たちの邪悪な行いに従って復讐する。
- 3 そして私は私が追い出した全ての地から私の民の残りのものを集める、
そして彼らを牧させる；そして彼らは増え、増大する。
- 4 そして私は彼らへの牧者を立て上げる、牧者は彼らを食させる；
そして彼らはもう恐れない、驚かされない、と主はいわれる。
- 5 見よ、その日が来ると主はいわれる、私が正しい枝であるダビデを立て上げ、
王が治める日が。彼は理解し、地において裁きと義をおこなう。
- 6 彼らの日に、ユダは救われ、イスラエルは堅く住むようになる；
そして主が呼ぶ彼の名は預言者の中のヨセダクである。
- 7 それゆえ、見よ、その日が来ると主はいわれる、彼らがもうイスラエルの家を
エジプトの地から連れ出した主は生きている、とはいわず、
- 8 かえってイスラエルのすべての子孫を北の地から集め、また彼が連れて行った全ての
国々から、集め、彼らを自分の地に回復した主は生きている、といわれる日が。
- 9 私の心は私の中で破れた； 私のすべての骨は震われた；
私は氣力が衰えた人のように、そしてぶどう酒に負けた人ようになった、
それは主のゆえ、彼の栄光のすばらしさのゆえである。
- 10 それはこれらのことのゆえに地は嘆き； 荒野の牧草は乾ききった；
そして彼らの道は邪悪なものとなり、彼らの力もそうなる。
- 11 それは祭司と預言者が汚れるからである； そして私は彼らの不正を私の家を見た。
- 12 それゆえ、彼らの道が彼らにとり滑りやすく、暗いものとなるように；

そして彼らがその中で躓き、倒れるようになる：
それは彼らの訪れの年に私が彼らに邪悪をもたらすからである。

- 1 3 そして私はサマリヤの預言者の中に不法の行いを見た；
彼らはバアルによって預言し、私の民であるイスラエルを迷わせた。
- 1 4 エルサレムの預言者にも私は恐るべきことを見た： 彼らは姦淫を犯し、嘘に歩み、
そして多くのものの手を強め、彼らがそれぞれ邪悪な道から帰るようにしなかった：
彼らはみな私にとり、ソドムとなり、ゴモラの住民のようになった。
- 1 5 それゆえ、このように主はいわれる； 見よ、私は彼らに痛みを食らわせる、
そして彼らに苦い水を飲ませる： それはエルサレムの預言者から汚れがすべての
地に広がるからである。
- 1 6 このように全能の主がいわれる、預言者の声に聞くな：
それは彼らが自分自身のために空しい幻を作り上げるからである；
彼らは自分自身の心から語るが、主の口からは語らない。
- 1 7 彼らは主のことばを拒絶する者たちに対して、あなた方に平安があるようにといい；
その欲望に従って歩む人々、その心の誤りに従うすべての人に対して彼らはいう、
何の邪悪もあなたがたの上に来ることはない、と。
- 1 8 なぜなら誰が主の会議に立ち、主のことばを見たというのか？
誰が聞き、聴いたのか？
- 1 9 見よ、主からの地震がある、怒りが動乱となる、それは不敬虔なものの上に激しく
来る。
- 2 0 そして主の怒りは彼がそれをなしとげるまで、そして彼の心に従ってそれを立てあ
げるまで、もう戻らない： 終わりの日に彼らはそれを知る。
- 2 1 私は預言者を遣わさなかったのに、彼らは走る： 彼らに語らなかったのに、
しかし彼らは預言した。

- 2 2 しかしもし彼らが私の会議に連なったなら、そしてもし彼らが私のことばを聴いたなら、それなら彼らは私の民をその邪悪な行いから引き戻すだろう。
- 2 3 私は近くにいれば神であり、遠く離れれば神でないのか、と主はいわれる。
- 2 4 誰かが隠れた場所に自身を隠せば、私は彼を見ることができないのか？
私は天にも地にも満ちているのではないのか？と主はいわれる。
- 2 5 私は預言者が語っているのを、彼らが私の名前で預言し、私は夜の幻を見たと誤って知っているのを聞いた。
- 2 6 いったいいつまでこれらのことがらが、彼らが預言するとき、彼らの心の目的をいう嘘を預言する預言者たちの心にあるのか？
- 2 7 これらの人々は彼らの先祖たちがバアルを拝するゆえに私を忘れたように彼らの夢のゆえに私の律法を忘れ、それを彼の隣人であるすべての人に語る。
- 2 8 夢を見る預言者は彼の夢を語れ； 私のことばが語られたものは、私のことばを真実に語れ； もみ殻は、実と何の関係があるのか？
私のことばはそのようである、と主はいわれる。
- 2 9 見よ、私のことばは火のようではないのか？と主はいわれる；
岩を切る斧のようでないのか？
- 3 0 見よ、私はそれゆえすべての隣人から私のことばを盗む預言者に立ち向かうと主である神はいわれる。
- 3 1 見よ、私は単なることばの預言をする預言者に立ち向かい、彼らの眠りを眠らせる。
- 3 2 それゆえ見よ、私は、偽りの夢を預言し、彼らに真実に語らず、
私の民を彼らの嘘のゆえ、彼らの誤りのゆえに誤らせる預言者に立ち向かう；
私が彼らを遣わさないのに、彼らに命じないのに；
それゆえ、彼らはまったくこの民の益にはならない。
- 3 3 そしてもしこの民が、また祭司が、また預言者が尋ねて、主の重荷とは何か？
と聴くならそれならあなたは彼らにいえ、あなたが重荷だ、そして私はあなたを打

ちつける、と主はいわれる。

- 34 主の重荷という預言者、そして祭司、そして民に対して、私はその人に、彼の家に復讐する。
- 35 彼の隣人に、彼の兄弟に、主はなんと答えられたか、主は何といわれたか、というすべての人にこのようにあなたは言え。
- 36 あなたはもう主の重荷とはいうな、それは彼自身のことばが人の重荷となるからだ。
- 37 しかし、主である神はいわれたかというとき、いえ。
- 38 それゆえ、我らの神である主はこういわれる； あなたがたがこの主の重荷ということばをいうので、
そして私があなたを遣わし、あなた方はもう主の重荷というな、と語ったので；
- 39 それゆえ、見よ、私はあなたをつかみ、そしてあなたとあなたの父祖やあなたに与えた町を打ち砕く。
- 40 そして私はあなたの上に永遠のそしり、永遠の不名誉を与える、それは忘れられない。